

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

32

主導権狙う

米国の科学技術政策には、日本の科学技術基本計画のような総合的な計画は存在しない。行政府の中心たる大統領府が科学技術戦略の基本的な方向性と優先事項を毎年提示し、省庁や科学技術関連機関がそれぞれ戦略を策定している。また、行政府のみでなく、予算編成権を持つ議会や政策コミュニケーションが政策形成に大きな影響を与えることも特徴である。

トランプ政権はこれ

戦略的に投資し、米国の主導的地位を確保しようとする動きが見られる。政権の科学技術全体の方向性を知る上で重要な文書に、大統領府が示す「予算教書」と半年前に示される「覚書」は、大統領府が各事項覚書(以下、覚書)に対する研究開発分を、米中の対立を踏まえて半導体や戦略鉱物を作成して議会で提出する。2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。

5つの優先領域

2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。

未来産業の基盤 米、新興技術に重点投資



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(海外動向ユニット) 富田 英美

米インディアナ大学大学院医科学研究科修士課程修了。チバ・ガイギー(現ノバルティスファーマ) 国際科学研究所研究員などを経て、16年より現職。学術博士。

2021年度 (2020.10~2021.9)	
米国の研究開発予算の優先事項(19年8月30日付)	
安全保障	高度な軍事力/重要インフラのレジリエンス/半導体/希少鉱物
未来の産業におけるリーダーシップ	AI・量子情報科学・コンピュータリング/先進通信ネットワークと自律システム/先進製造
エネルギーと環境におけるリーダーシップ	エネルギー/海洋/地球システムの予測
保健とバイオエコノミーにおけるリーダーシップ	生物医学/退役軍人の健康/バイオエコノミー
宇宙探査と商業化	

(金曜日掲載)

また、新たに加わった「未来産業」領域で、2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。2021年度予算に「覚書」は、19年度は、将来の産業の要となる三つの新興技術(AI・量子情報科学)を重点投資が行われる。